

第5学年 国語科学習指導案

令和3年 1月19日(火) 5校時

1 単元名 目指せ！情報使い！！ ～筆者の下村先生に自分の考えを届けよう！～
教材名 「想像力のスイッチを入れよう」

2 児童の実態と本単元の意図

(1) 児童の実態

事前にアンケート調査を行い、以下の回答が得られた。(調査人数 名 月 日実施)

①あなたはメディアから情報を受け取っていますか。
ほぼ毎日受け取る だいたい受け取る あまり受け取らない 受け取らない
<input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名
②どのメディアから情報を受け取ることが多いですか。(複数回答可)
新聞 テレビ ラジオ インターネット 雑誌
<input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名
③②のメディアから情報を受け取ることが多いのはなぜですか。
・朝ニュースを見るから ・テレビだと解説もあってすぐ、よくわかる ・よく見るから
④メディアから情報を受け取るとき、情報が正しいかどうか考え、判断して受け取っていますか。
いつもそうしている そうしている あまりそうしていない していない
<input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名
⑤メディアからの情報で間違っただけの情報を受け取ったことはありますか。
ある ない
<input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名
⑥⑤で「ある」と答えた人に聞きます。どんなこと(内容)でしたか。
・人の名前間違い ・デマで内容がまったく違った
⑦国語の授業とメディアはかかわりがあると思いますか。
そう思う 思う あまり思わない 思わない
<input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名
⑧国語に関する力で、どの力が一番大切だと思いますか。
読む力 書く力 話す、聞く力 言葉等の知識力
<input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> 名

本学級の多くの児童は、テレビを中心とするメディアから情報を得ていることが見て取れる。児童の約は、情報の正誤について自ら考え判断せず、情報を素直に受け取り、過ごしている状況が見られる。そのことから、情報が間違っているにも関わらず、その情報を信じて受け取っているため、「間違っただけの情報を受け取ったことがない」児童が多いと考えられる。また、国語の授業とメディアについては、意識して関係があると考える児童が多い。4年生までの学習を通して、メディアについて知ることができたものと思われる。一方、国語に関する力では、読む力が最も大切であるととらえている児童は非常に少ない。このことから、読むことを通してメディアとの関わりについて考える授業を行っていききたい。

児童は、これまでに「見立てる／言葉の意味が分かること」「固有種が教えてくれること」等の説明的な文章を読み、筆者の考えを明らかにしたうえで、文章の書かれ方、筆者の工夫を捉える学習に取り組んできた。しかしその中で、事例・理由や論の展開に着目して、要旨を捉えたり、文章以外の資料を用いた効果を考えながら深く読んだりすることには個人差が見られる。説明方法に着目して読んだり、筆者の考えに気付きながら読んだりすることは、限られた児童しかできない。

また、文章中の言葉に着目せずに読み進めたり、資料との関わりを意識せず読まなかったりすることで、自分勝手な読み方になってしまう児童が数名いる。筆者の意見とそれを支えている事例のつながりに着目させながら、丁寧に読み進めることで、正確な読み方とメディアとの関わり方を身に付けさせたいと考える。

(2) 本単元の意図

本単元を指導するに当たっては、小学校学習指導要領（平成29年告示）・第5学年及び第6学年の内容の思考力、判断力、表現力等C読むこと(1)「カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。」に重点を置いて指導する。

児童は、これまでに「見立てる／言葉の意味が分かること」で事例・理由や論の展開に着目して、要旨を捉える方法、「固有種が教えてくれること」で文章以外の資料を用いた効果を考えながら読むことを学習してきた。二つの教材から「筆者の考えを明らかにしたうえで、文章の書かれ方、筆者の工夫」を捉えてきた。

本教材は、メディアから発信される情報を正確に受け止めるために必要な努力について、事例を挙げながら考えを述べた説明的な文章である。筆者は、ニュースキャスターなどを務めたジャーナリストであり、伝えることのプロフェッショナルである。発信する側を熟知した筆者が、発信者の特性を解説し、受信者として情報をどう受け取るかを解説しているため、児童も文章の要旨をすんなり理解できると考える。

また、伝えるプロである筆者の述べ方にも着目させたい。分かりやすい事例を挙げ、比喩を用いながら自分の考えを展開しており、そこには、読者に伝えるための工夫が散りばめられている。その工夫を読み取りながら、筆者の意図に迫っていききたい。

さらに、現代の児童が生きている社会は情報化社会であり、メディアが流す情報をどのように扱っていくか身に付けておく必要がある。情報の受信者としてだけでなく、情報の発信者となったときに生かすことができることも大切だと考える。そのため本単元では、教材文の学習で理解した情報に対する筆者の考え方である想像力のスイッチを使って、実際のニュースを基に作った記事を読み取り、筆者に向けて、そこから生まれた自分の考えを書く活動を行う。そして実生活の中でもニュースを見るときに想像力のスイッチを使って判断しようとする態度を育てたい。

3 研究主題とのかかわり

「自分の思いや考えをもち 豊かに表現できる児童の育成」
～国語科を中心とした児童の言語活動の充実を図るための指導法の工夫・改善～

【研究内容1】

自分の思いや考えをもたせるための工夫

手立て

- 身近な内容のニュース記事を用意し、児童の興味・関心、考える意欲を高めるようにする。
- 記事から「四つのスイッチ」を探し、考えを付箋に書き込むことで思考を可視化していく。
- 言葉に着目させた読みをさせることで、事実と印象の違いを明らかにし、自分の考えをもたせる。

【研究内容2】

豊かに表現するための工夫

手立て

- 目的を明確にしたグループでの話し合い場面を意図的に設定し、自分の思考を広げたり、深めたりできるようにする。
- 拡大シートを活用することで思考を整理しやすくし、共通点・相違点・考えの理由を明確にできるようにする。
- 振り返りの視点を明確にすることで、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。

4 単元の目標

- ・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 【知識及び技能】((1)カ)
- ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】(C(1)カ)
- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】(C(1)ア)
- ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】(C(1)オ)
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

5 単元で取り上げる言語活動

- ・メディアとの関わり方について、分かったことや考えたことを話し合ったり、文章にまとめたりする活動 (関連:言語活動例ア)

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)	①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C(1)ア) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(C(1)オ) ③「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C(1)カ)	①進んでメディアとの関わり方について書く順序を考え、今までの学習を生かしながら、考えたことを文章にまとめようとしている。

7 指導と評価の計画(全9時間 本時8/9)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○メディアについての知識や経験を想起し、メディアの種類と特徴を知る。 ○単元計画を知り、単元の見通しをもつ。 ○全文を読み、関心をもったことや表現の仕方について初発の感想を書く。	○各メディアの特性 ○単元全体の見通し ○単元のゴール ○初発の感想	○児童が意欲をもって学習を進められるように、メディアリテラシーに関する本を教室内に準備する。 【思考・判断・表現②】 ノート ・学習の見通しを立て、意欲的に学習計画を立てたり、初発の感想を書いたりしているか確認する。
2	○文章全体を三つのまとまりに分け、大まかな文章構成を捉える。 ○マラソン、図形の二つの事例から、事例と筆者の意見を整理する。	○文章の大体の内容 ○文章の構成 ○事例と筆者の意見の整理の仕方	【知識・技能①】 ノート ・文章の大まかな構成や、マラソン大会と図形の事例について、事例と意見を整理し、その特徴について理解しているか確認する。
3 4 5	○サッカーの監督の事例から、事例と筆者の意見を整理する。 ○想像力のスイッチを入れるときに大切なことを読み取る。	○事例と筆者の意見の整理の仕方 ○「四つのスイッチ」の正確な理解	【思考・判断・表現①】 ノート、観察 ・サッカーの監督の事例と筆者の考えを読み分けし、整理しているか確認する。
6	○複数の事例を挙げて説明する効果を考える。	○複数の事例の効果	【知識・技能①】 ノート、観察 ・事例と四つのスイッチを結びつけて考えているか確認する。
7	○筆者の考える「想像力のスイッチ」とはどのようなことか、要旨をまとめる。	○文章の要旨のまとめ方	【思考・判断・表現①】 ノート、観察 ・「想像力のスイッチ」という言葉を使った筆者の意図を捉えているか確認する。
8 (本時)	○筆者のものの見方を活用して記事を読む。 ○筆者のものの見方に対して自分の考えを書く。 ○自分の考えをもって友達と交流し、情報を読むときの自分の考えを広げたり深めたりする。	○「想像力のスイッチ」を活用した記事の読み方 ○読み取り方の違いに気付くこと	【思考・判断・表現③】 話し合い、観察 ・筆者のものの見方で記事を読み、自分の考えをまとめ、友達と共有することで、自分の考えを広げているか確認する。
9	○メディアとの関わり方について自分なりの考えをまとめて書く。	○メディアとの関わり方についての自分の考えのまとめ方	【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート ・筆者の考えに対して、共感、疑問、これまでとこれからの自分について自分なりの考えをまとめて書いているか確認する。

8 本時の学習指導（本時8／9時間）

(1) 目標

文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。

【思考力・判断力・表現力等】(C(1)カ)

(2) 評価規準

「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。

【思考・判断・表現】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 前時までの学習を振り返り本時の課題を確認する。	○前時までの学習内容 ○本時の学習の進め方	・前時までの学習について、掲示物やノートを見て振り返らせ、本時の学習の見通しをつかめるようにする。	3
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 想像力のスイッチを入れて、想像力のかべをこわそう！ ～君はスイッチをいくつおせるかな！？～ </div>			
2 「想像力のスイッチ」を入れられないで読むとどう感じるか確認する。	○想像力のスイッチの必要性	・スイッチを入れられないで読む人の感想を考えることで、スイッチを入れる前後の感想を比較できるようにする。	3
3 想像力のスイッチを入れながら記事を読み、考えを記入していく。	○想像力のスイッチを基にした記事の読み方	・四つのスイッチから記事に該当する観点を選ばせる。 ・見つけた観点ごとに色を変えた付箋に書きこんでいく。	8
4 グループで四つのスイッチで読み取ったことを交流する。	○読み取り方の違いに気付くこと	・自分の考えとの共通点や相違点、考え方の違いに着目しながら聞くようにさせる。 ・なぜその考えをもったのかを理由付けした話合いが行えるようにさせる。 ・拡大シートを活用し、思考を整理しやすくする。	8
5 全体で交流する。	○効果的な読み方（考えの理由や情報の読み取り方） ○想像力のスイッチの重要性	・グループの話合いで出た意見と比べながら聞く。 ・記事の中の言葉や文から様々な見方をするので、	15

<p>6 本時の学びを振り返り、今後の生かし方を考える。</p>	<p>○記事の読み方について振り返りの仕方 ○次時の学習内容の確認</p>	<p>想像力のスイッチを使うことの大切さを感じさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題、学んだことを確認し、自分に足りないスイッチを考えると、筆者の主張と自分を重ね合わせながら振り返らせる。 	<p>8</p>
<p>【思・判・表③】 <評価方法> ノートの考察、観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の見解と比べたり、様々な見方に気付いたりして自分の考えを広げながら、まとめ、振り返りをしている児童をBとする。 <p><「努力を要する」状況(C)への手立て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・想像力のスイッチを入れずに記事を読んだ印象と、印象をなくした記事を比べて、気付いたことを書くよう助言する。 			
<p>四つの想像力のスイッチを使えば、想像力のかべはこわせる！ 四つの想像力のスイッチで様々な見方ができる！</p>			
<p>【期待する児童の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想像力のスイッチを入れながら読むことで、ニュースの本当のことに気付くことができた。 ・今までニュースを見るときに自分にも同じ経験があり、これからは想像力のスイッチを入れた読み方をしたいです。 			

<p>目指せ！情報使い！！ 〜下村先生に自分の考えを届けよう！〜 「想像力のスイッチを入れよう」 下村 健一文 めあて</p>	<p>想像力のスイッチを入れて、想像力のかべをこわそう！ 〜君はスイッチをいくつおせるかな！？〜 想像力のスイッチ① 想像力のスイッチ② 想像力のスイッチ③ 想像力のスイッチ④</p>	<h1>記事</h1>	<p>まとめ 四つのスイッチを意識することが大切である。 想像力のかべをこわすためには四つのスイッチを入れて読むことが重要である。</p>
--	--	-------------	--